

## 横浜市アマチュア無線非常通信協力会 理事会議事録

日 時：平成 21 年 11 月 15 日(日) 午後 3 時 10 分～4 時 40 分

場 所：県民センター R712

出席理事：斎藤・片山・川畑・鈴木・宮本・日暮・松永・半田・日置（全員出席）

出席監事：なし（欠席監事：薄井、梅田）

出席顧問：なし（欠席顧問：野村、鈴木）

冒頭、議長は鈴木副会長が、議事録作成係は日置事務局長がそれぞれ務める旨の確認がなされた後、議長の進行により議事が開始した。

### <議 題>

#### 1. コンテスト検討委員会の検討結果について

宮本委員長より、別紙 1.に基づき、コンテスト検討委員会の答申について次の通り報告があった。

- ・ 第 1 回目の会合は、委員 4 名が出席し、委員長より、① 協力がオール横浜コンテストに協賛することになった過去の経緯、② 今年、協力が同コンテストに参加しなかった事由、③ 本年の協力会総会で質問があり、コンテスト検討委員会を設置することになったこと等について説明を行い、コンテストについて意見交換をした。
- ・ 第 2 回目の会合は、委員 5 名が出席し、審議を行った結果、委員会の結論としては、① オール横浜コンテストについては、横浜クラブから依頼のない限り、協力会としては参加しない、② 協力会自体によるコンテスト開催は、実務的に難しい面もあり、今後時間をかけて検討していくべき、となった。

上記の答申に対して、斎藤会長から、これを受理したい旨の発言があり、了承された。

また、各理事からは、上記の答申に関連して、① 協力会独自のコンテストではなく、ロールコールに積極的に参加していく形などが望ましいのではないか、② 市役所局と区役所局の定期的な交信をまず進め、それを続けていく中で盛り上がっていけば、コンテスト的なものをするを考えては如何か、③ 防災フェアや通信訓練の延長上で、コンテスト的なものを実施するというやり方もあるのではないか、等の意見が出された。

議長から、本件の総括として、① オール横浜コンテストについては、横浜クラブから依頼のない限り、参加しないこと、なお、横浜クラブから協賛等の依頼があったとき

は、その時点で別途検討を行う、② コンテスト検討委員会を本日解散すること、の2件について理事会の決議を取りたい旨の提案が出され、裁決の結果、2件とも全員一致で賛成可決された。

## 2. 横浜防災フェアへの参加について

片山副会長より、別紙2.に基づき、8月29日(土)に開催された横浜防災フェアへの参加について次の通り報告があった。

- ・ 本年の防災フェアは、2日目の30日(日)は強風雨により中止となり、結局1日だけの開催となった。
- ・ 本年の防災フェアは、協力会のブースの場所が悪かった。アナウンスや音楽がかかっている時はうるさくて、来場者の言っていることが聞き取れない状況であった。
- ・ 赤レンガという場所柄、防災フェアを見に来るとい人よりも、観光客が多かった。当ブースの来場者は数十名、特小トランシーバー体験参加者は20名程度であった。ブースに呼び込むためには、何らかの工夫がさらに必要と感じた。

## 3. その他

- (1) 斎藤会長より、横浜開港150周年無線実行委員会の森本会長から、協賛をしていた当会に対して、結果報告書の提出があった旨の報告があった。
- (2) 宮本理事より、来年度総会の会場については早目に押さえた方がよいとの提案があり、検討の結果、日置事務局長が市役所の担当に連絡を取って予約を進めることとなった。なお、総会の日程としては、5/8～5/末の間の土・日曜(午後2～4時頃)を優先的に考えることとなった。
- (3) 松永理事より、協力会ホームページの閲覧者から、「協力会会員であるが、港北区から南区へ転居したので、変更手続きを教えてほしい。」との問合せがあったが、そうした手続きが確立されていないので、検討が必要ではないかとの提案があり、検討の結果、このような場合には、両支部長にまず連絡を入れて、支部間で処理を進めてもらうこととなった。

これに関連して、片山副会長より、協力会会員の中には複数の支部に所属している者が若干いるようなので、その整理も必要ではないかとの提案があり、検討の結果、一度会員リストを出して照合してみることとなった。

- (4) 半田理事より、協力会にも永年勤続表彰のようなものがあってもよいのではないかとの提案があり、検討の結果、次回の理事会で検討することとなった。⇒ 次回理事会検討事項

以上